



月見

^{まんげつ}満月に秋の七草やだんご、
^{やさい}野菜などをそなえて月をまつり
ます。だんごは、日本の古くか
らの食べ物です。また、すすきは、
いねのほににたかたちをし
ているといわれます。ほうさく
をかんしゃする行事です。



七五三

秋のしゅうかくにかんしゃす
ることにあわせて、子どもがそ
だつ大切なじきにあたり、
^{うじがみさま}氏神様をもうでて、子どもを
守ってくれることをおねがいし
ます。社会の中のひとりとして
みとめてもらう^{うじこい}氏子入りから伝
わってきた行事です。



^{とうじ}冬至

冬から春にむかって人の命も
いねにやどるたましいも、生ま
れ変わるといふしんこうがあり
ます。冬至にかぼちゃを食べる
のは、太陽の強いじきにできた
野菜を神様にそなえ、わたした
ちもその力をいただくという
^{いみ}意味があります。